

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

10

October
2023

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



2023北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会in山形



よい会社 よい経営者 よい経営環境をむす
中小企業経営者の全国組織

2023年度スローガン

人を生かす経営の実践で

新時代にチャレンジしよう

情熱と行動力で発展的未来への承継を



9月21～22日に、山形国際ホテルに於いて「2023北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会in山形」が開催され、7同友会と中同協から103名が参加しました。

冒頭、藤井幸一・中同協副会長(北海道)より「気候変動や原材料費の高騰、円安、人手不足も深刻で、さらにインボイス制度や2024年問題が待っている。我々は経営環境をしっかり把握しなくてはならない。この時代を乗り越えるため、交流会をよい情報交換の機会にしていきたいと思います」とあいさつがありました。

続いて開催地を代表して川合勝芳代表理事(山形)が、「北海道・東北ブロックの活動を支える皆様が互いに学び合い、同友会づくりや企業づくりに向けてのヒントとエネルギーを持ち帰ることがこの交流会の目的。持続可能な企業・地域をつくるために、腹を割って語り合い、各地域で実践していただきたい」と語りました。

一日目は、「山形同友会の組織強化と支部づくり」をテーマに、阿部秀顕山形同友会副代表理事と服部正山形支部長が事例報告をしました。阿部氏からは、同友会活動と自社経営を一体として次の支部長・委員長・部会長を育て、バトンを渡すことを重視して各組織の情報と課題を共有し、目標を設定して行動する組織委員会の取り組み、服部氏からは、支部長経験者が伴走支援する体制で、長期的に課題解決に取り組み、組織づくりと仲間づくり、学びの場づくりを進めてきたことが報告されました。

グループ討論後の座長のまとめでは、伊藤誠理事(山形支部前支部長)が「組織委員会の活性化により情報や課題が共有され、協力して進むことができた2022年度は純増となり、期首会員数を下回る支部はなかった。活動を通して『トップが増と強に分けた目標に向かって率先して模範を示し、みんなで行動する』『会員やゲスト一人ひとりの意見や課題を自らが学ぶ姿勢で聞き、同友会の魅力を伝えていく』『聞き取った課題をテーマに学びの場をつくる』ことが重要」と語り、その後に行われた夕食交流会では、各地同友会のPRを交えながら交流を深めました。

二日目は、「柔軟な思考力でビジネスモデルを変革した事例 ダイバーシティ経営による伝統企業の改革—山形からめっきでレボリューション—」と題して、鈴木一徳氏(スズキハイテック㈱代表取締役社長・山形同友会会員)が、受注型から開発提案型のビジネスモデルに転換した経営実践を報告しました。

鈴木氏は大企業の海外移転などにより売上が減少する中で五代目の代表取締役社長に就任。100年続く受託型企業のマインドを変えようと高度外国人材を積極的に採用し、「理解と尊重と共有」をベースとして多様性を受容する企業風土へ変えてきました。そして、従来の事業の集約と再編を行いながら、次世代自動車の電動化や低燃費化に向けた部品の処理など「情熱と学習」「決意と行動」で新規事業に取り組み、めっき技術を基盤としてMEMS・精密電鍮技術で新たに医療・ヘルスケア分野にも挑戦し続けています。

二日目の座長のまとめでは、菅原茂秋代表理事(山形)が「報告に『会社を継続する承継なのか、未来への承継なのか』という選択があった。同友会も活動の継続ではなく、発展的に未来へつなげる承継がこれまで行われてきている。規模を縮小して成り立たせるといった消極的な企業が多いから地域の人口は減り、経済は停滞しているのではないかと鈴木社長のような方を増やすことが同友会には求められている。志を持って同友会運動を展開していきましょう」と語りました。

総括では鍋島孝敏中同協副会長(宮城同友会)が、「昨年に続き百名を超える参加者で、交流会の潮目が変わったと感じる。同友会は組織経営を学ぶ場だが、同友会の組織経営が出来ていないことが、共通の問題ではないか。解決にはトップの情熱と行動力が必要。そして、同友会は大きなおせっかいの会。今回はこれを見直す大きなチャンスだった。自社、同友会の支部や地区会等の組織の承継はどうするのか。次にどういう形で渡すのか。一年後にどう変わったのかを持ち寄りましょう」とまとめました。

最後に次回開催地となる秋田同友会の武田亨代表理事があいさつを行い、閉会しました。

伝え続ける社長の想いが成長のエンジン



9月12日、山形市立商業高等学校輸誠ホールにおいて、スマイルパートナーラボ(以下SPラボ)が開催されました。会場には、地域企業の取り組みと経営者の想いを知る機会にしたいと参加した山形県立工業高等学校の生徒38名を含めた88名が集い、共に学びあいました。

SPラボは2021年に山形支部内で会員間の新たな価値創造を目的に立ち上げられ、今年で3年目を迎えました。今年度は、イノベーションで未来への一手を打ち、大きな変革の時代を乗り越えてきた実践報告から学びあいます。

今年度2回目の講師には弘栄設備工業(株) 代表取締役社長 船橋吾一氏をお迎えし、『社長にしか出来ない社員と交わした2つの約束とは』をテーマに報告いただきました。船橋氏は、社員と交わした約束とは「どんな時代もつぶれない会社をつくること」「働きやすい環境をつくること」の2つであると、2部構成でそれぞれの取り組みについて説明しました。



船橋氏は、「どんな時代でもつぶれない会社をつくるため」に行ったこととして、①経営計画発表会を実施して定期的な業務改善に取り組むこと、②商圏の拡大、③M&Aにより業種業態を増やすこと、④新

規事業の立ち上げの4つの取り組みを挙げました。

社長就任以前2011年の同社のグループ会社は2社でしたが、今年度までにM&Aにより7社、新たに設立した3社を合わせ、建設業を中心に10業種、12社にまで拡大し、商圏を東日本全域に広げています。船橋氏は一本足打法からの脱却のためM&Aに取り組んだと述べ、良いグループ化のため、契約後2か月以内に全社員との面談を行うなど社員とのコミュニケーションの強化や働く環境の改善、経営状況の見える化を行いました。

「配管の状態がわからない」「ピンポイントで修理ができれば」という現場のニーズから、船橋氏は社長就任直後から配管の状況がわかるものをつくりたいという想いを持ち続けていました。役員会で却下されたこともありましたが、長年想いを持ち続け、銀行や大学との連携により、配管内の映像の取得、

記録ができるようになる『配管くん』を開発しました。『配管くん』によって、配管のマップデータまで取得ができるようになり、見えない配管の見える化が可能となりました。

船橋氏は「同じことをしては、経済シュリンクの中目指す経営はできない」と述べ、新事業立ち上げに当たって元請けから生かされるだけではなく新たな価値を創造すること、現事業の延長線上で戦うこと、グループ全体のシナジーを考えることの重要性を強調しました。

第2部では「働きやすい環境をつくるため」に行っている取り組みとして、①経営計画発表会を開催し、社長としての決意表明を行い、グループ内の結束強化に取り組むこと、②銀行訪問により情報共有からの信頼関係の構築と、未来へのアプローチを行うこと、③社長勉強会の開催、④トップダウンではなくボトムアップの組織にする会議手法の導入で自走する組織をつくる、⑤家族交流会、⑥感動共有事業について説明しました。

船橋氏は企業理念に「感動経営」を掲げ、「一人一人が感動を共有し、心豊かになる会社をつくろう」をスローガンに企業経営を行っています。社長勉強会は、2週間に一度オンライン開催されており、全社員が参加対象者となっています。前回からの社長自らの行動報告、経営計画書の進捗説明、最新情報や目指す物事の言葉の定義の説明が主な内容となっており、社長の人となりを理解してもらい、理解者を増やし、成長エンジンに変えていくことを目的に開催されています。

会社は、社員だけが働く場所ではない、家族の支えがあつてこそ働くことができるという考えの下、家族交流会にも力を入れています。社員の大家族を対象に行うことで、家族の仕事への理解を醸成し、家族サポーターづくりにつなげています。

船橋氏は最後に「社長が先頭に立ちかわることが大切だ。感動経営から多くのサポーターをつくること。社長ができることは小さいが、一人で作る会社はそれだけの器でしかない」と締めくくりました。

参加した学生からは「会社、仕事は堅苦しいものだと思ったがとても良いイメージが変わった」「多くの協力者、サポーターをつくっていくことによって会社、社会全体がより良いものになるのだとわかった」といった感想が寄せられ、働くことについて考える機会となりました。また、経営者からは「社員を含めた『サポーター』をつくる力を学んだ」「自社変革には、社長が先頭に立って進むという気持ちが必要だと感じた」などの感想があり、盛会の中閉会となりました。

第51回青年経営者全国交流会in広島 開催

9月14～15日、中同協・第51回青年経営者全国交流会が「主体者であれ～学びは広島に あなたがやらねば誰がやる～」のスローガンのもと広島で開催され、全国から2500名以上が参加しました。山形からは9名が参加し、分科会や特別報告、記念講演を通して共に学びあいました。

今回、第8分科会に参加したお二人からレポートをいただきましたのでご紹介させていただきます。



寒河江物流(株) 代表取締役社長 後藤智樹氏

今年も青全交に参加しました。先ずは第8分科会から。「視座を事業で超えていけ！」のタイトルで、視座を高めてきた報告者の、視座と事業の相乗効果を未来につなげる実践報告です。視座というのは一般的には物事を見るうえでの立場の事ですが、経営者の視座が高まると事業定義の再構築につながることに気づきました。また、経営者だけでなく社員さんの視座を高めることによって、考え方や価値観が共有できやすくなることを学びました。

翌日の記念講演は、『人生、今日が始まり』～逆境こそ自ら成長し、(糧となり)企業を変革するチャンス～の演題

で、くりむパンで有名な(株)八天堂の森光社長の報告です。自社の理念や使命は心が震えるものになっているか、それ程の強い想いが大切で、森光社長は今でも自社の理念や使命に心が震えると言います。これは印象的でした。また、無理な事業拡大から社員を疲弊させ倒産の危機にあう中で、他責になっていた自分に気づき、そこから人づくりを最も大切にし、新たなビジネスモデルを展開する内容でしたが、自分、自社が良くならなければ、まわりを良くできない。また、身近な人にも敬意を忘れない等、多くの学びや共感を頂きました。みなさん！全国交流会に参加しましょう。

(株)大久保硝子店 代表取締役社長 大久保徳朗氏

昨年、兵庫で開催された青全交にて、報告者として登壇してはやくも1年。どのぐらい会社が、自分が成長しているかを確認しに行き参りました。

私は第8分科会に参加しました。分科会テーマは「10年ビジョン・視座を高める」、報告テーマは「視座を事業で超えていけ！」で、京都の(株)ワールドカンパニー 小坂社長の報告です。過去があり今があるという発想と、未来から今をつくるというバックキャストिंगをしている会社でした。今回、初めて全国にてグループ長を務めさせていただきました。その中で一番の学びは「理念は育てていくもの」というキーワードでした。会社自身の事業領域が広がる、自分の視座が高まることによって、理念の見え方が違ってくる。

今までは、「理念はこう！と決めたらこうだ」と思っていたため、これだけ外部環境がめまぐるしく変化する中で、気づきを得ることが出来ました。少し会社の成長を感じ、以前よりぬるま湯感があった私にとっては、大きすぎる刺激を貰いとても良い機会になりました。

2日目は、平和に対するメッセージがありました。その中でも「平和なくして安定的な企業経営はない」という言葉に、改めて平和であることが当たり前である日本にいることに感謝するとともに、関心を持つ必要があると学びました。

次年度は、この学びを多くの山形のメンバーと共に体験したい！学びは距離に比例する。来年は是非、一緒に参加しましょう！

適格請求書発行事業者登録のお知らせ

2023年10月1日より消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入されることに伴い、山形同友会は適格請求書発行事業者として登録を致しましたので、お知らせいたします。

課税対象請求項目は、例会・経営研究集会・経営指針をつくる会・共同求人活動など行事の参加費、社員研修や各種セミナーなどの参加費、書籍代、広告料です。

当会の会費・入会金につきましては、消費税法基本通達5-5-3、5-5-4に該当する項目となり、課税対象外となります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

適格請求書発行事業者登録番号:T7700150040371

10月例会のご案内

山形支部

採用のプロが語る 中小企業が今取り組むべき採用活動

2023.10.25(水) 17:30~20:00

場所: TISカンファレンスセンターA会議室&Zoom
山形市漆山字大段1865-5 TISビルディング3階 ☎0120-730-389

報告者: ㈱キャリアクリエイト 代表取締役 原田幸雄氏

採用と育成は、会社にとって重要な取組み、いわば先行投資です。人口減少が進む中、採用は厳しさを増していますが、ここ数年で就活戦線は大きな変化を遂げていることを皆さんはご存じでしょうか。

採用を考える上では、給与、労働時間、年間休日などの条件や募集方法ももちろん大切ですが、中小企業が採用に臨む際には、会社を認知してもらった上で自社にいかに関心を持ってもらうかが何より重要だと言われています。皆さんは自社の強みや、自社で働くことで、どんな将来を描けるのか、わかりやすく伝えることができるでしょうか。本例会を機に、今の若者の傾向、採用活動の傾向を学び、我々中小企業が取り組むべき採用活動とはどのようなものか、共に考えあう機会にしましょう。

皆様のご参加をお待ちしております！経営者の方はもちろん、採用担当の方も是非ご参加ください！

寒河江支部

知名度を上げる ブランド力を高める そして収益を上げる 地域中小企業が実践できる企業間連携(コラボレーション)

2023.10.16(月) 18:30~20:30

場所: 寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1

報告者: HIKIDUS(ヒキダス) 代表 尾上雄亮氏

寒河江支部10月例会は、HIKIDUS(ヒキダス)代表 尾上雄亮氏より、320社を超える企業支援や150を超える新商品・新サービスを生み出してきた経験から、企業間連携や収益を上げるポイントについて、実例をもとにご講演いただきます。

自社の事業を見直し、企業間連携によって広がる様々な可能性を考え合いましょう。皆様ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

さくらんぼ支部

上司も部下もストレスなく 面談するスキルを身につけよう

2023.10.17(火) 15:00~17:30

場所: 天童市津山公民館
天童市員津2434 ☎023-654-2533

講師: tsunagu 代表 工藤美季氏

さくらんぼ支部10月例会は、ホワイトボード・ミーティング®認定講師の工藤氏をお招きし、上司と部下の面談スキルについて実践的に学びます。

皆さん、面談では、知りたい情報を双方でやり取りできていますか？ご自身が話したいことだけを聞いて、満足してはいないでしょうか？部下に対し言いにくいことを上手に伝えるためにも、部下の本音を聞き出すためにも、テクニックと訓練が必要です。ホワイトボード・ミーティング®のやり方を取り入れることで、意見が可視化され、活発な意見交換ができるようになります。話したいことを上手に整理し、腹を割って話せるようになるために、実践的に学ぶ場としましょう。経営者の皆様、幹部社員の皆様、ご参加をお待ちしております。ゲスト参加も大歓迎です！

※本例会は、会場参加限定での開催となります。会場でのご参加をお願いいたします。

置賜支部

新卒採用×新規事業 ~圧倒的発想転換が未来の笑顔をつくる~

2023.10.26(木) 18:00~20:30

場所: 伝国の社
山形県米沢市丸の内1丁目2-1

報告者: ㈱大久保硝子店 代表取締役社長 大久保徳朗氏

メーカーの営業を経て後継者として入社。「俺が会社を変える」と奔走するが、退職する社員が続出。同友会の経営指針づくりで会社の実状を知り、企業変革に乗り出します。経営指針を柱に採用と教育に取り組みながら新卒社員と共に庭づくりやものづくりなどの新規事業に挑戦し続けています。

市場縮小の時代に大久保氏の報告から未来をつくるために何をすべきかを考え合います。皆さまぜひお誘いあわせの上ぜひご参加ください。経営課題を的確にとらえ、未来を自ら拓くため、自社変革に必要なものとは何か考える機会にしましょう！

庄内支部

地域企業結束で酒田の未来をつくる

2023.10.26(木) 18:30~21:00

場所: 酒田市総合文化センター 411研修室&Zoom
酒田市中央西町2-59 ☎0234-24-2992

報告者: ㈱丸高 代表取締役社長 高橋 剛氏

東北地域は全国に先駆けて人口減少と少子高齢化が進んでいます。逆に言えば、東北の自治体、企業は、先進事例を示す立場であるともいえます。

10月例会では、酒田市中心部再開発の先頭に立つ㈱丸高の高橋社長から、本業を通じた地域づくりの取り組みと、そこにかける思いをご報告いただきます。「これから天国と地獄が一緒に来る時代。酒田は今、分岐点にある。ここで取り組まなければ街が死んでしまう」と危機感をもって語る高橋社長。行政にもはたらきかけながら、未来の豊かな酒田づくりに邁進しています。

地域の未来と、地元企業のあるべき姿を考えあいます。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください！

新庄最上支部

“同業他社を作らない”「差別化」を目指して

2023.10.17(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室&Zoom
新庄市下金沢町15-11

報告者: Curio 代表 武田秀勝氏

新庄市で洋菓子店 Curio を営む武田氏。市街地から離れた、偶然の来店が難しい立地で開業したことから、目的をもって来店する、わざわざ来ていただくお客様づくりに取り組んできました。物産展やマルシェへの積極出店で認知度を高めるとともに、商品に込めた思いやストーリーを伝えてきました。市街地には有名な老舗菓子店が構えている中、差別化に取り組む武田氏が目指すのはその先の「差別化」だといいます。

10月例会では、6年間の取り組みと成果、これからの課題を率直にご報告いただき、自社の独自の価値を知っていただくためにどうすべきか、共に考えあいます。お誘いあわせの上ぜひご参加ください！

■開会挨拶

菅原代表理事より「北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会が間近になり、阿部副代表理事と服部支部長のブレ報告があった。今までの歩みがよく分かる内容で、2016年の盛岡での交流会にて、阿部さんと「支部長交代も事業継承と同じように、思いを理解してもらって承継しなければ」と話し合った。組織はきちんと承継しなければ弱くなる。今回の交流会では、我々が取り組んできたことを確認し、これからの活動を更に盛り上げる機会としたい」と挨拶がありました。

■学習会

●コーディネーター:後藤代表理事

冊子「人を生かす経営」の「人を生かす経営とは~中同協「労使見解」作成の経緯と今日的意義~」を読み合わせた後、討論を行いました。

■報告事項

- 1)組織強化・会員増強全国交流会(ZOOM)8/22 12名参加
菅原代表理事より、広浜会長の同友会の立ち位置の変化を強調し、更に活動を活性化させて会員数5万人を展望する挨拶、中山幹事長の4つの問題提起、山梨同友会と京都同友会の中京支部の事例報告が紹介され、「同友会の目標を実現するためには、仲間を増やす必要があると再認識できる会」と報告がありました。
- 2)2023経営労働問題全国交流会(山口)8/31~9/1 2名
後藤代表理事より、林哲也経営労働委員長の「激動の時代にこそ、人を生かす経営の総合実践が重要」との問題提起、京都橋大学・小山大介氏の現状分析が重要で、地域内循環を大きくし、自分たちで地域産業をつくるのが大事という講演、山田茂経営労働副委員長の実践報告では、仕方なく賃上げするという考えではなく積極的に賃上げができるようになるべきで、挑戦するのとかという問いかけがあったと、報告がありました。
- 3)中同協・女性部連絡会(東京)9/6 1名
笹林理事より、新年度体制・年度方針の報告や女全交in福岡の報告、来年の女全交in大阪の案内や確認があった後、情報交換とグループ討論があり、女性部の設立からの歴史について学びあったこと、討論では県ごとの女性部の違いについて話し合い、「他県の優れた取り組みを積極的に取り入れていきたい」と報告がありました。
- 4)2023年度8月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 5)2023年度8月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 2名退会 465名

■討議事項

- 議題1:北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会について
後藤代表理事が、参加申し込み状況を報告し、呼びかけの協力のお礼を述べた後、タイムスケジュールと役割分担について説明し、承認されました。
- 議題2:中小企業を取り巻く経営環境について
川合代表理事より、9月4日に開かれた第1回中同協政策委員会では、「地域経済の捉え方 経営戦略への活かし方」と題し、経済産業省地域経済産業グループ・地域経済産業調査室の田中幸仁室長補佐の報告、「広島同友会の政策・調査活動と行政との関係づくり」の事例報告とグループ討論、「2024年度国の政策に対する中小企業家の要望・提言」についての説明と「社会保険料の財源化にNOを」という問題提起があったことが報告されました。
その後、「2024年度国の政策に対する要望・提言」について、川合代表理事より説明があり、内容を確認しました。
- 議題3:第20回経営研究会について
実行委員長の野口理事が、開催要項を提案し、座長を齋藤マシン工業(株)の中川氏が担当すること、これから講師と打ち合わせを行い、案内を作成する予定であること、180名の参加目標、下記の実行委員会の体制を提案し、承認されました。
(実行委員会)
実行委員長:野口雅弘
副実行委員長:後藤康晴、東海林武
実行委員:小野慎弥、小松幸儀、伊藤博、齋藤和彦、井上勝寛、志田清志、園部幸春、後藤正人、柴田慶一、阿部真
- 議題4:各委員会より
1)組織委員会
菅原代表理事が、委員会の報告として増強月間の11月は各支部の取り組みをサポートしていくこと、広報委員会のメンバーにSNSの継続的な更新をお願いすること、委員会・部会の案内のリリース、今後の同友会を知る会の予定について報告しました。その後、SNSのガイドラインについて提案があり、参加

者で内容を確認した上で承認されました。

2)共同求人委員会

佐藤副代表理事が、「山形大学低学年インターンシップは26社で26名を受け入れ、9月14日に成果報告会」「東北芸術工科大学インターンシップは10社で12名の受け入れ」「山形大学学内合同企業説明会は9月20日開催」「米沢女子短期大学合同企業説明会は12月4日開催」と説明し、「インターンシップや合同企業説明会は同友会単独で大学と組んで行っている。ぜひ皆さんに参加してほしい」と報告しました。

3)社員共育委員会

庄司委員長が、10月5日に開かれる新入社員フォローアップ研修について、入社1年未満の方が対象で、入社してからを振り返り、3年後までの仕事や人生の目標を立てる研修になっていると述べ、参加を呼びかけました。

4)青年部会

大久保部会長が、東北6県の青年部が持ち回りで開催している「東北青年経営者フォーラム」の開催地候補として、2024年または2025年に山形が挙がり、「山形青年部の希望としては2025年に立候補し、しっかり準備をしていきたい」と述べ、承認されました。

議題5:中同協環境経営委員会よりアンケート依頼について

矢作事務局長より、「環境経営・エネルギーシフト・SDGsアンケート」の説明があり、9月25日~10月31日まで実施することが決まりました。

議題6:行政・他機関・団体からの依頼などについて

- 1)2023年度山形市中小企業振興条例意見交換会の報告 8/29
川合代表理事より、年に一回参加している意見交換会で、参加団体の活動報告や情報共有が主な内容になっているため、中小企業振興条例の意義は地域課題を具体的にどのように解決していくかということとそこにあり、具体的な活動が必要ではないかと提案したことが報告されました。
- 2)山形県発明協会(山形県知財総合支援窓口)よりセミナー&ワークショップのご案内
矢作事務局長より、下記の予定で開かれることが説明されました。
・市内地域 日時:11月7日(火)13:30~16:30
・置賜地域 日時:11月21日(火)13:30~16:30
場所:米沢信用金庫5階会議室
・新庄最上地域 日時:12月予定
- 3)山形県「YAMAGATA bizウーマンキャリア形成応援事業」
矢作事務局長より下記の報告がありました。
①経営者と県内外の若者との座談会 玉津理事が出席
②就労支援インターンシップ参加企業 9社の申し込み

■その他

- 1)今後の予定について
・9月14日(木)~15日(金)第51回青年経営者全国交流会(広島)
・9月21日(木)~22日(金)北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会(山形)
・9月28日(木)第28期経営指針をつくる会第4講(TISカンファレンスセンター)9:00~
・10月5日(木)新入社員フォローアップ研修(山形流通団地組合会館)9:00~
・10月19日(木)第28期経営指針をつくる会発表会(TISカンファレンスセンター)9:00~
・10月19日(木)~20日(金)第22回障害者問題全国交流会(愛知)
・10月24日(火)中小企業の海外展開を考える学習会(TISカンファレンスセンター)18:00~
・10月26日(木)中同協第2回幹事会(ZOOM)
・10月27日(金)~28日(土)北海道・東北ブロック事務局長会議(岩手)
・11月9日(木)第28期経営指針をつくる会第5講(TISカンファレンスセンター)9:00~
・11月16日(木)~17日(金)2023共同求人・社員教育活動全国交流会(鹿児島)
・11月22日(水)幹部社員研修第3講(山形ビッグウイング)13:30~
・1月12日(金)~13日(土)中同協第3回幹事会(東京)
・1月13日(土)北海道・東北ブロック代表者会議(東京)
- 2)今後の常任理事会と理事会について

| | | | |
|----------|---------------|--------|----------------|
| | | 第5回理事会 | 9月13日(水)15:00 |
| 第6回常任理事会 | 10月4日(水)16:00 | 第6回理事会 | 10月11日(水)15:00 |
| 第7回常任理事会 | 11月6日(月)16:00 | 第7回理事会 | 11月8日(水)15:00 |
| 第8回常任理事会 | 12月6日(水)16:00 | 第8回理事会 | 12月13日(水)15:00 |
| 第9回常任理事会 | 1月4日(水)16:00 | 第9回理事会 | 1月10日(水)15:00 |

■閉会挨拶

半澤専務理事より「理事会の度にこれだけの議題があるのは、それだけ活動をしているからであり、同友会の影響力が広がっているということ。中同協の政策提言を見ると、中小企業のあるべき最先端の姿を示している。情報収集の場としても理事会はとても大切な場。増強についても着々と伸ばしている。来週の北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会も頑張っていきたいと思います」と挨拶がありました。

新会員紹介

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>◆ 井上 日登美氏 ◆</p> <p>(株)長栄精密 常務取締役 精密部品の製造業 山形支部</p> | <p>◆ 熊澤 奈緒氏 ◆</p> <p>サーチ☆アール 代表 結婚相談所・飲食店 山形支部</p> | <p>◆ 中川 俊則氏 ◆</p> <p>エヌズスキーム 代表 コンサル業 置賜支部</p> | <p>◆ 本間 雅隆氏 ◆</p> <p>そば処つむぎ 代表 蕎麦販売・飲食店 庄内支部・鶴岡地区</p> |
|--|---|---|--|